

第 1 回部会における各委員からの意見について

各委員からの意見	事務局及び法人の対応方針(案)	備考等
1 評価の対象項目について(論点1)		
<p>1-1. 年度評価における「医療の専門的な項目」の取り扱いについて</p> <p>○専門的な項目であっても、中期計画、年度計画に位置づけられている以上、評価の対象とすべき。</p> <p>○「医療の専門的な項目」の評価については、評価の指標自体が十分に確立されておらず、また早急に結論が出る問題ではない。法人の業務実績報告をもとに実態や実数を見ながら評価の可否を判断するしかない。評価委員のそれぞれの視点を持ち寄ってしっかり議論しながら評価をまとめていけばいい。</p> <p>○計画自体がそれほど詳細かつ専門的な表現で書かれているわけではないので、評価委員、いかえると府民が評価・理解可能な範囲で評価すれば良いのではないか。</p>	<p><事務局></p> <p>○「年度評価の考え方(素案)」に示すとおり、医療の専門的な項目を含め、年度計画にあるすべての項目を対象として年度評価を行うこととしてまいりたい。</p> <p>○なお、初年度の年度評価を行った結果、評価が困難な項目があった場合は、改めて評価方法や計画内容の見直しなどについて検討することとしてまいりたい。(1-3を参照)</p>	
<p>1-2. 先進的医療・政策医療・調査研究等に関する項目の評価方法等について</p> <p>○年度計画で目標が設定されているので、その目標が達成できたか否かは、客観的事実をもとに評価することになるのではないか。</p> <p>○自己評価の理由(定量的、定性的)が示されるので、それらをもとに評価すればよい。ただし、初年度の評価では、断面の数値を見ても(定量的評価の場合)それが目標を達成したのか否かはわからない場合もあるので、自己評価や前年度までの実績を参考にしながら行う必要があると思われる。</p> <p>○先進的な医療の項目については、その実績があったか否かで評価せざるを得ない。</p> <p>○調査研究の専門的な内容については、自己評価の結果をもとに、医学の専門家として、意見を言わせていただきながら、評価することになると思う。</p> <p>○患者のQOLに関する項目を評価する際には、患者満足度調査の結果が非常に有用な情報となるのではないか。</p>	<p><法人></p> <p>○先進的医療や政策医療に関する項目の自己評価にあたっては、この年度計画で掲げた目標や取組内容に対して、客観的なデータや活動実績をもとに各病院においてどれだけ達成できたか検証を行い、評価結果の理由をできる限りわかりやすく示してまいりたい。</p>	

各委員からの意見	事務局及び法人の対応方針(案)	備考等
<p>1-3. 独立行政法人評価の対象領域の整理について</p> <p>○本来、独立行政法人評価制度は、サービスの質の向上と経営マネジメントの改善を目的としており、医療の専門的内容には入らないというのが大前提であり、医療の専門的な評価や政策的な評価とは区分して考えるべき。ただし、それぞれが重なる領域をどのように評価するかは悩ましい問題である。</p> <p>○当該項目が評価できるか否かの基準としては、具体性、測定可能性、実行可能性、目標を達成する手段と目標の適合性、期限の明示の5つがある。来年度以降の課題としては、こうした基準に沿って中期計画、年度計画の項目を再検討することも考えられる。</p>	<p><事務局></p> <p>○現時点では、年度評価を終えてからの課題として整理し、初年度の年度評価を行った結果、評価が困難な項目があった場合は、改めて評価方法や計画内容の見直しなどについて検討することとしてまいりたい。</p>	
<p>2 5病院1法人の特性を踏まえた評価について（論点2）</p>		
<p>2-1. 法人の自己評価のあり方について</p> <p>○中期目標や中期計画、病院改革プログラムで示された5病院のあるべき姿に照らして、評価の重みづけを行いながら、それを反映させて全体評価につなげていくというやり方しかないのではないか。</p> <p>○収益性など、各病院の置かれている状況が違うので、各病院がそれぞれできることをやって、少しでもいいサービスを提供できるよう改善されることが重要であり、その点を評価すべき。法人全体だけでなく、セグメント情報として各病院の経営目標、経営状況も示してほしい。</p> <p>○法人として包括的に評価することを原則とするが、病院によってばらつきが大きいものや、病院の特殊性を考慮しなければならないものは、付記のような形で記載して、次年度以降の評価の際にも活用すればよいのではないか。</p>	<p><法人></p> <p>○計画策定にあたっては、5病院の活動内容が見えるよう、項目ごとに客観的な数値目標・実績を掲げるなど工夫したところである。加えて、自己点検にあたっては、病院ごとに自己点検を行い、それをもとに、法人全体の評価をまとめることを検討しており、業務実績報告書には、できるだけ、各病院の実績を示し、全体として当該評価に至った理由を記載してまいりたい。これにより、5病院の特性を踏まえた評価を行えるものと考えている。</p> <p><事務局></p> <p>○評価委員会においては、法人の自己評価の判断理由や5病院の実績データをもとに、5病院の特性を踏まえた自己評価が行なわれているか否かを検証することになると考えている。</p>	
<p>2-2. 評価委員会の評価のあり方について</p> <p>○特性の異なる5病院の業務実績を細かくチェックして評価するのではなく、5病院の特性を踏まえて機構がどのように支援・方向づけをおこなってきたかを評価すべき、と理解している。</p>	<p>○5病院1法人化によるメリットを生かした取り組みについては、「年度評価の考え方（素案）」に示すとおり、病院改革の取り組みの一つとして積極的に評価することとしている。</p>	

各委員からの意見	事務局及び法人の対応方針(案)	備考等
<p>○機構として全体を見渡した評価が最終的な評価になるとしても、それぞれの病院の特性においた目標とその達成度を見ながら、法人の全体像を確認したい。評価結果をそれぞれの病院にフィードバックさせるためにも、こういう作業が不可欠。</p> <p>○それぞれ独立していた5つの病院が法人化を契機に1法人となったことから、SPDの取組など、1つの法人となったメリットを生かした取組を積極的に評価したい。</p>		
3 業務実績報告書の記載について（論点3）		
<p>3-1. 業務実績報告書を作成する際の留意点について</p> <p>○業務実績報告書の作成にあたっては、評価委員会の評価のための報告だけではなく、法人が府民や知事に実績を報告するという目的があることに留意されたい。</p> <p>○数字で出せるものは数値化し、文章でないと示せないものは文章化するなど、臨機応変に記載していただきたい。</p> <p>○各項目の「実施状況（判断理由）」の記述としては、まず、どこまで目標を達成できたのか事実関係を書いていただき、その後で、背景、達成できなかった理由などを記載していただきたい。</p> <p>○業務実績報告書の「全体的な状況」の記述については、単に項目別評価を集約するだけではなく、各病院がこの1年でどう変わったか、あるいはどう変わらなかったかということを示述していただき、最後に、5病院をマネジメントする法人として、経営管理上の視点からの総括的なコメントを示していただけるよう、提案したい。</p>	<p><法人></p> <p>○業務実績報告書の作成にあたっては、できる限り客観的なデータや活動実績を示し、各項目の目標に対してどの程度達成できたのかを分かりやすく記述するよう努めるとともに、全体的な状況においては、各病院の経営状況の総括を記述してまいりたい。</p> <p>○また、各項目の実施状況等の記載にあたっては、実施(検討)体制や活動実績、実績データと目標値・前年度実績値との比較などの事実関係の記述を基本として、必要に応じ、業務実績に影響を及ぼした要因などを付記してまいりたい。</p> <p><事務局></p> <p>○業務実績報告書の様式(素案)において、「全体的な状況」及び「実施状況(判断理由)」について「記載上の留意点」を記載したところである。</p>	
<p>3-2. 法人化前の定量的データの提示について</p> <p>○病院の場合、法人化前のデータがしっかり整備されており、前年実績、18年度実績、19年度の数値目標の3つが揃うので、評価にあたって非常に価値のある情報になるのではないかと。また、数値目標が設定されていない項目についても関連の計数があれば、補足データとして提示していただきたい。</p>	<p><法人></p> <p>○数値目標を設定している項目については、目標数値に加え、法人化前と比較できるよう、前年度、当該年度の実績数値を示してまいりたい。</p> <p>○また、数値目標を設定していない項目については、項目内容と関連する計数で参考となるものがあればそれを示すなど、法人化前の状況と比較ができるよう努めてまいりたい。</p>	

各委員からの意見	事務局及び法人の対応方針(案)	備考等
4. 大学と病院の違い、府立病院機構の特性を踏まえて留意すべき点（論点4）		
<p>4-1. 経営・財務に関する評価の重要性について</p> <p>○府立病院機構の場合、60億円の不良債務解消という経営上の大きな目標があるので、これが達成できるのか検証することが重要となる。</p>	<p><法人></p> <p>○財務内容については、財務諸表等を補足する資料（セグメント情報）や計画期間における収支見込と比較できる資料を提示してまいりたい。</p>	
5. その他		
<p>5-1. 法人の全体像を意識した評価の試みについて</p> <p>○全体や各論の評価とともに、5病院に求められる機能としての軸を明確にし、（たとえば、バランススコアカード的な「財務」「診療及び事務の質」「患者」「医療従事者（事務も含む）」「成長・学習」の視点）、これらの機能、バランスがとれているか否かを意識した評価（プレゼンテーション）が必要。これができるれば、わが国の病院の中では先駆的かつ最初の取り組みになるのではないかと思うし、府民の立場からも詳細な各論よりもわかりやすくなると思われる。</p>	<p><事務局></p> <p>○今年夏の年度評価に向けての研究課題としてまいりたい。</p>	
<p>5-2. 各病院の管理者及び現場からのヒアリングについて</p> <p>○評価にあたっては、5病院の管理者、あるいは現場の声を聞かせていただき、これを評価に反映させたい。</p>	<p><事務局></p> <p>○部会を病院で開催する、あるいは、病院視察を実施するなど、ご意見に沿ったかたちで運営方法を検討してまいりたい。</p>	